

「共助」が「共感」により支えられ、「循環」する社会へ

【安定運営に向けた取り組みイメージ】

【支えられた側も、支える側へ】

- ・働くことにより生活の自立を実現し、働く仲間の共助の輪(セーフティネット)へ参画
- ・労働運動の裾野の拡大、社会的評価の向上



【働く仲間】

“夢やライフプランの実現”につながる(ろうきん)商品の利用
(社会貢献寄付商品)

一人はみんなのために、
みんなは一人のために
ささえ合うしくみ

【ゆめ・みらい基金】

「働く」につながる支援により、親(世帯)の収入の安定化を図り、子どもの生活環境の改善へ(子どもを笑顔に！)

【ろうきん・会員団体】

- ・「0150ゆめ・みらい運動！」(定額自動寄付)の展開
- ・社会貢献寄付商品の推進
- ・団体寄付の検討

【労働団体・協同組合組織などによる組織的な推進支援】

- ・地区推進委員会、単産単組本部推進委員会など、推進機構による組織的な推進の支援
- ・四団体懇話会(連合沖縄・沖縄県労福協・全労済沖縄県本部・沖縄ろうきん)による推進支援

「ろうきん 働く仲間のゆめ・みらい基金」全体イメージ

「共助」「共感」「循環」

労働運動の社会的評価の向上

《 会員団体 》

・団体寄付の検討

・構成員(組員、共済会員、互助会員等)への参画推進

①「0150ゆめ・みらい運動(定額自動寄付)」の展開

②社会貢献寄付商品の利用推進

・運営参画(基金委員会)

《 会員構成員のみなさま 》

・ライフプランに合わせた社会
貢献寄付商品の利用

・「0150ゆめ・みらい運動！」
への参画

ゆめ・みらい基金

「働く」につながる支援
により、親(世帯)の収入の
安定化を図り、子どもの生活環境の
改善につなげる。

《 労働団体・協同組合組織 》

・四団体懇話会(連合沖縄・労福協・全労済・ろうきん)や、単産単組本部推進委員会、地区推進委員会を中心とした構成組織に対する組織的な協力の呼びかけ

・運営参画(基金委員会)

働く仲間による共助の輪
(セーフティネット)の拡大

《 ろうきん 》

【会員と一体となった基金の安定運営支援に向けた取り組み】

①「0150ゆめ・みらい運動(定額自動寄付)」の展開

②社会貢献寄付商品の利用による寄付

③会員に対する団体寄付の要請